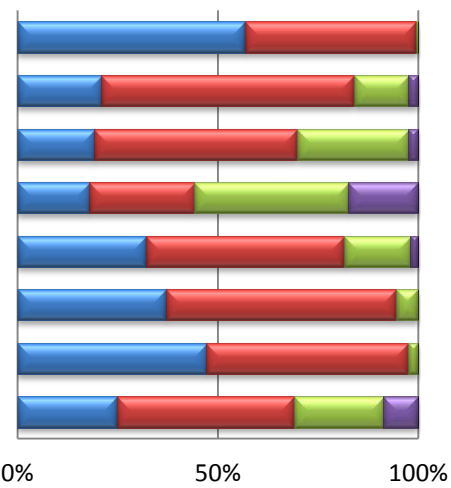


【教職員の自己評価について】
学級担任以外では回答できない項目も
あり、その場合は、集計に入ってません。

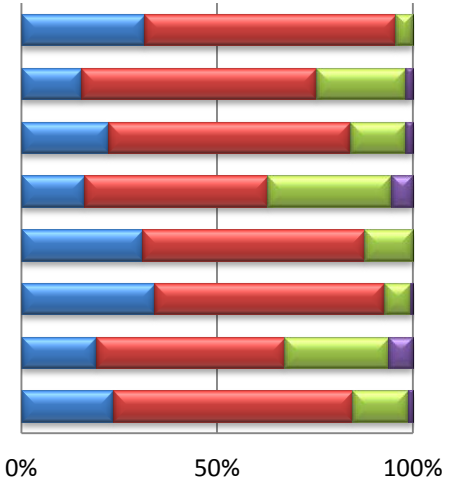


保護者による回答

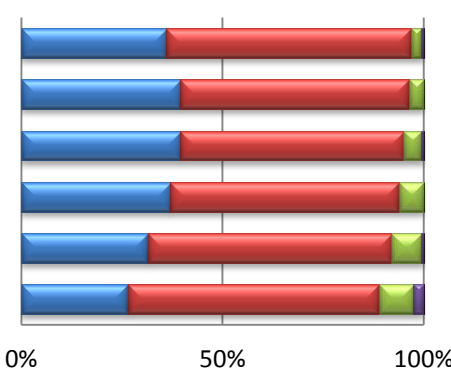
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2	お子さんは、授業が楽しくよく分かりますか。
3	お子さんは、家で進んで学習に取り組んでいるか。
4	お子さんは、家で本をよく読んでいますか。
5	お子さんは、進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか。
6	お子さんは、思いやりのある心や優しい心が育っていますか。
7	お子さんは、友だちや周りの人たちから大切にされていますか。
8	お子さんは、「早寝・早起き」が身についていますか。



9	お子さんに、きまりを守る大切さを指導されていますか。
10	ご家庭で、お子さんがじっくり学習できる環境を整えていただいていますか。
11	ご家庭で、お子さんと言葉づかいについて話されていますか。
12	お子さんと家の役割(手伝い)を決め、実行させていただいていますか。
13	お子さんに、その日のできごとについて話されていますか。
14	学校からの配付物に目を通されていますか。
15	PTA活動・地域活動に参加されていますか。
16	学校行事に参加されていますか。



17	教職員は、お子さんのことについて相談にのってくれますか。
18	学校は、学校だよりやホームページなどでいろいろな取組を、保護者の方に伝えていますか。
19	学校は、学年(学級)だよりなどで学習した内容や学校の様子を、保護者の方に伝えていますか。
20	学校は、保護者や地域の方々との交流を深め、積極的に参加していますか。
21	学校は、一人一人を大切にした教育活動を行っていますか。
22	教職員は、子どもたちにわかりやすい授業を進め、学力向上に努めていますか。

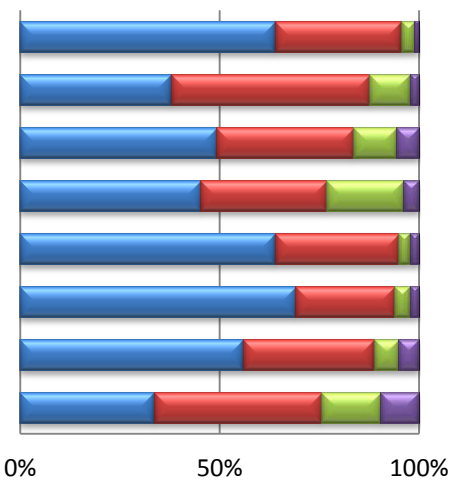


○ 子どもたちの様子

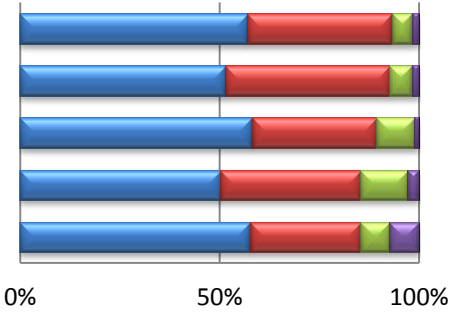
項目1「楽しく学校生活を送っているか」という項目に対して、『思う』『そう思う』が保護者の皆様では、ほぼ100%、児童では、95%というとても喜ばしい結果でした。しかし、児童の5%が『そう思わない』と回答していることもしっかり受け止めていきたいと思います。学校は、普段の子どもの様子をこれまで同様しっかり見ていくとともに、学級で何かつらいことはないか。悲しんでいる人を見ることはないかを問う、「いじめアンケート」や学級全体の傾向が分かる「クラスマネジメントシート」なども活用し、学校全体として、児童の誰もが輝き活躍できるようにしていきたいと思います。また、項目5「自分から進んであいさつをしているか」という項目に対しては、児童が評価しているほどできていない実態があると感じます。しっかり声を出し、自ら進んであいさつができるよう、これからも引き続き取り組んでまいりたいと思います。

児童による回答

1	学校生活は楽しいですか。
2	授業は楽しくよく分かりますか。
3	家で進んで宿題や学習をしていますか。
4	本を読むのが楽しく、学校でも家でも本を読んでいますか。
5	自分から進んで、「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか。
6	友だちや周りの人を大切にしていますか。
7	友だちや周りの人から大切にされていると思いますか。
8	ふだん、「早寝・早起き」をする生活リズム身についていますか。



9	学校や学級の約束やきまりを守れていますか。
10	学習予定表を使って、時間割をそろえたり、学習のふり返りをしたりすることができていますか。
11	あなたは、先生や友だちに対して言葉づかいに気をつけていますか。
12	家の手伝いをしっかりしていますか。
13	家の人に学校や学級でのできごとを伝えていますか。



○ 家庭でのかかわり

項目9～13 の〈家庭でのお子さんに対するかかわり〉に関する設問全般において、前回よりもよい結果が出ました。これは、各ご家庭においてご努力いただいているものと大変感謝しております、また、項目17「教職員が相談にのる」も評価がやや改善しました。これからも一層保護者の方々と連携を図り、子ども達が生き生きと学校生活を送れるよう努力していきます。

○ 家庭学習は学力定着の場

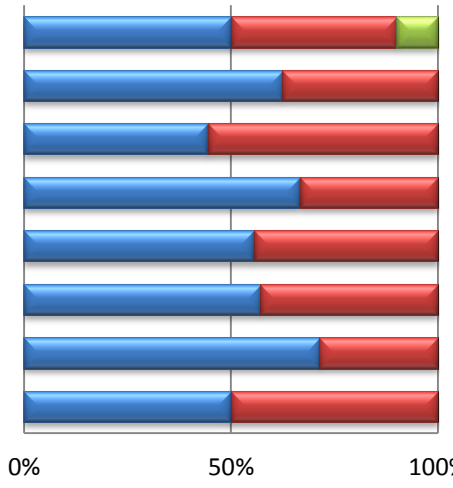
項目3「家で進んで宿題や学習をしているか」の設問に対して、『できている』『だいたいできている』と回答している児童は、約89%あったことに対して、保護者の皆様の回答は、約70%にとどまり、児童と保護者の皆様との意識に大きな隔たりがありました。学校では、わかったことやできたことが次の意欲につながると考え、学力向上に取り組んでいます。そして、学習したことの定着を図るためには、家庭でも学習時間を決め、集中して学習を行うことがとても大切です。宿題の出し方や内容、量などについて、我々学校もまだまだ改善していかなければならないと考えておりますが、もう少して次の学年を迎えるこの時期、今一度お子さんと話し合っ、家庭学習についての約束を作ってみてはどうでしょうか。

家庭学習の約束！ ～こんなことからはじめてみませんか

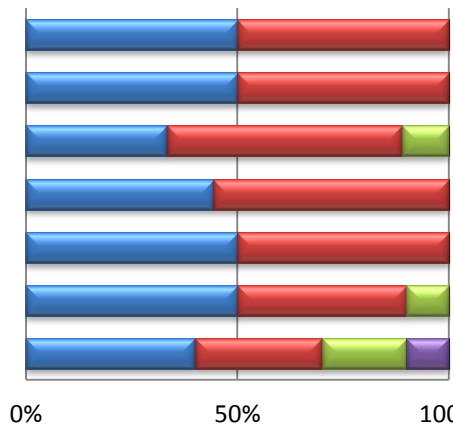
- ① まずは規則正しい生活を
 - ・起床時刻は、学習の始まる2時間以上前までに。
 - ・脳の活性化のためにバランスのよい朝ごはんを。
 - ・睡眠時間は、低学年10時間、中学年9時間半、高学年9時間
 - ② 家庭学習3つのポイント
 - ・テレビを消して取り組む。
 - ・机の上はきれいに片づける。
 - ・決まった時刻に始める。
 - ③ 「きちんとする」の習慣付け
 - ・鉛筆をけずり、筆箱の中を整理する。
 - ・前日に時間割をそろえ、持ち物を用意する。
- ☆ ほんの少しのがんばりを見つけて、認めてほめてください。ちょっとした言葉かけが、きっと自信とやる気につながるでしょう。

教職員による回答

1	学校生活のあらゆる場面において、子どもが主体的に取り組める活動を意図的に行っている。
2	基礎・基本の学力の定着を図る取組を行っている。
3	家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っている。
4	進んで読書活動するよう工夫を行っている。
5	あいさつの指導をするとともに、率先して声かけを行っている。
6	一人一人を徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことのできる学級づくりを行っている。
7	児童同士が互いに認めあうことのできる学級づくりを行っている。
8	基本的生活習慣を確立することの大切さを子どもたちに指導している。(保健だより等の活用)



9	学校や学級の約束やきまりについての指導を徹底している。
10	子どもたちが落ち着いて学習生活を送ることができるような環境整備を常に行っている。
11	正しい言葉づかいの指導をするともに、自分自身も場にに応じた言葉づかいをしている。
12	当番活動(給食・そうじ・係・委員会等)の意義を知らせ、責任をもってやりきるようにしている。
13	子どもたちの話を聞き、願いや思いを把握している。
14	保護者の願いや思いを把握している。
15	PTA活動や地域活動に進んで参加・協力している。



○ 子どもにとっての学校

項目9「きまりを守る」項目11「言葉づかい」に対して、『できている』『だいたいできている』と回答している児童が、項目9では、約93%。項目11では、約90%で、前期とほぼ同様の結果でした。しかし、子どもたちの様子を見ると、走ってはいけないうところで走ったり、場に応じた言葉遣いができにくかったりすることもあります。子どもたちにとって学校は、家庭から離れて生活する小さな社会です。子どもが成長し、やがて巣立っていく社会同様、ルールやマナーを守ることが大切です。もちろん、ルールやマナーは多岐にわたります。時間を守る。正しい姿勢や言葉遣いをする。提出期限を守る。文字を丁寧に書く。自分の思いをしっかりと相手に伝える。など、生活にかかわることだけでなく、学習につながることもあります。まずは、我々大人が範を示すことも大切でしょう。ぜひご家庭でもお取組いただきますようお願いいたします。

自由記述より

自由記述欄には、お褒めの言葉や心配や不安に思っておられること、施設面、行事に関するなどが書かれていました。施設面については、なかなかすぐに改善することはできませんが、少しずつ子どもたちが安心して、また安全に学校生活を送れるようにしていきたいと思っております。そのほかのことについては、皆様のご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。

なお、いただいたご意見は、教職員全員で共有しております。お忙しい中ありがとうございました。

